



令和4年5月1日

第 81 号

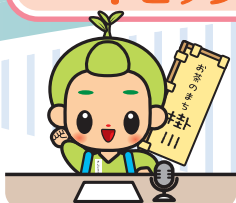
令和4年2月
定例会の内容を
お知らせします。

おもな
内容

- P2 トピック（政策提言）
- P3 ウクライナ侵攻に断固抗議する決議
- P4 タブレット端末を本格運用
- P5 予算決算審査制度検討特別委員会
- P6 令和3年度一般会計補正予算の概要
- P7 常任委員会 委員長報告（補正予算）

- P8 令和4年度当初予算・一般会計補正予算の概要
- P9 常任委員会 委員長報告（当初予算）
- P10 一般質問
- P14 審議結果一覧
- P16 未来日誌／議員研修会／傍聴席／
表紙の説明／編集後記

Topic トピック



茶のみやきんじろう © 掛川市

議会から 市長へ政策提言

掛川市議会では、各常任委員会が1年間のテーマを定め、調査研究を進めてきました。11月の議会報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度もWeb開催とし、常任委員会の活動報告等を行い、市民の皆さんのご意見を伺いながら調査研究を進めました。11月定例会（政策議会）では、各常任委員会協議会を開催し、行政との意見交換等を行い、さらに検討しました。

これら、所管の常任委員会が調査研究の成果としてまとめた2つのテーマについて、全議員による政策討論会で討論を重ね、「提言」として取りまとめ、令和4年3月30日に掛川市長へ提出しました。



議長から市長へ提言書を渡す



提言書の内容を市長へ説明

広域連携について

今後、高齢化や人口の低密度化等により行政コストは増大するが、資源は限られ、各自治体は財源不足や専門人材の確保が懸念される。そこで、市民生活や行政サービスの維持、更なる向上を図るため、近隣市町と様々な分野で連携することがより重要と考える。

この度の、新型コロナウイルスのワクチン接種において、袋井市・森町との連携によるエコパ会場の設置は、積極的な連携の取り組みとして実感するところである。

広域連携において中東遠地域を掛川市が主体的に牽引することを期待し、以下のとおり提言する。

- ① 庁内に広域連携の研究会を立ち上げ、課題意識を持って取り組むこと。
- ② 市民ニーズにあったDXの推進を図るとともに広域的な視点でも検討すること。
- ③ 森掛川インターチェンジを活かした土地利用と地域活性化策を広域連携も視野に検討すること。

子どもの貧困対策について

2018年3月に掛川市子どもの貧困対策計画が策定された。子どもの貧困は、虐待や育児放棄、いじめなど、様々な問題につながる可能性があるとともに、教育格差によって大きな社会的損失となる恐れもある。これからの人口減少社会に立ち向かうためにも子どもの貧困対策は重要な課題である。また、新型コロナウイルスの影響により、支援の必要な子育て世帯は増加傾向にある。

掛川市としても、子どもの貧困を見逃さない体制を強化し、子どもの居場所づくりを積極的に推進していくべきである。また、保護者の経済的負担軽減のため、就学援助制度についても対象者が利用しやすくなるよう改善する必要がある。

このようなことから、掛川市子どもの貧困対策計画改定においては、数値目標を明示した実効性のある計画とし、子どもの貧困対策を充実させ、生まれ育った家庭の経済状況に関わらず、全ての子どもたちが未来に希望を持つ持続可能な掛川市をつくるため、以下のとおり提言する。

- ① こども家庭総合支援室に福祉職を追加配置するなど、庁内体制の強化に取り組むこと。
- ② SDGs プラットフォームの仕組みを活用し、子ども食堂や学習支援等の子どもの居場所づくりを担うキーパーソンの育成を図ること。
- ③ 子どもの居場所を運営する団体への市独自支援を検討すること。
- ④ 就学援助制度の周知方法及び申請方法の改善を図るとともに、制度内容の充実に努めること。
- ⑤ 学校指定の学用品の自由化やリユースを促進し、保護者の経済的負担の軽減を図ること。

全会一致で可決

ロシア連邦によるウクライナ 侵攻に断固抗議する決議

ロシア連邦は、去る2月24日、国際的な警鐘と自重を求める声を無視してウクライナへの軍事侵攻を開始した。これは国連憲章と国際法に違反し、国際社会の平和と安全を著しく損なう明白な侵略行為であり、非核平和都市宣言自治体として、断じて容認することはできない。

よって、掛川市議会は、全世界が一体となって、世界平和の実現に向け全力を挙げて取り組むよう強く訴えるとともに、世界の恒久平和を願い断固たる決意でロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻に強く抗議し、ただちに戦闘を停止しウクライナから軍を撤退させることを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月9日

掛川市議会



令和4年度から

タブレット端末を本格運用

掛川市議会では、議会及び議員活動の活性化、議会運営の効率化及びペーパーレス化に取り組むため、昨年10月からタブレット端末の運用を開始しました。

議員は、6月定例会より、行政から提出される資料（一部は除く）は、原則、タブレット端末を利用し閲覧することになります。本会議及びすべての委員会が対象であり、本格的にペーパーレス化が進むことになります。

今後、議会のICT化を推進することで、さらなる会議の効率化や紙資料の削減に取り組んでいきます。

導入目的と使用方法

●ペーパーレス化

会議（本会議、委員会等）の資料をデータ化し、会議の効率化を図ります。

●情報共有の効率化

議員への資料提供を紙からデータとし、紙の通知を廃止し、メールで通知を行います。

●省資源化の推進

紙の資料を削減し、省資源化・省力化を図ります。

●オンライン会議

Zoom等のアプリを利用したオンライン会議を実施します。

●その他

災害時等の緊急情報伝達や、市民への広報広聴活動に使用します。



本会議でタブレット端末を使用

導入から運用までの流れ

R3.10

- ・タブレット端末・ペーパーレス会議システム導入



- ・掛川市議会会議規則改正
（本会議・委員会でのタブレット端末の使用を規定）
- ・掛川市議会委員会条例改正
（オンライン委員会の開会を規定）
- ・掛川市議会オンライン委員会運営要綱制定



R4.2

- ・全員協議会をペーパーレス化
- ・令和4年2月定例会 本会議・委員会にペーパーレス会議システム試験導入



R4.3

- ・議会運営委員会 オンライン委員会を開会



R4.6

- ・令和4年6月定例会 本会議・委員会にペーパーレス会議システム本格導入（予定）

予算決算審査制度検討特別委員会 委員長報告（概要）

地方分権時代における議会の役割と責務は増し、「市民に開かれた議会」を目指して、積極的かつ継続的な議会改革・議会活性化に取り組んできました。

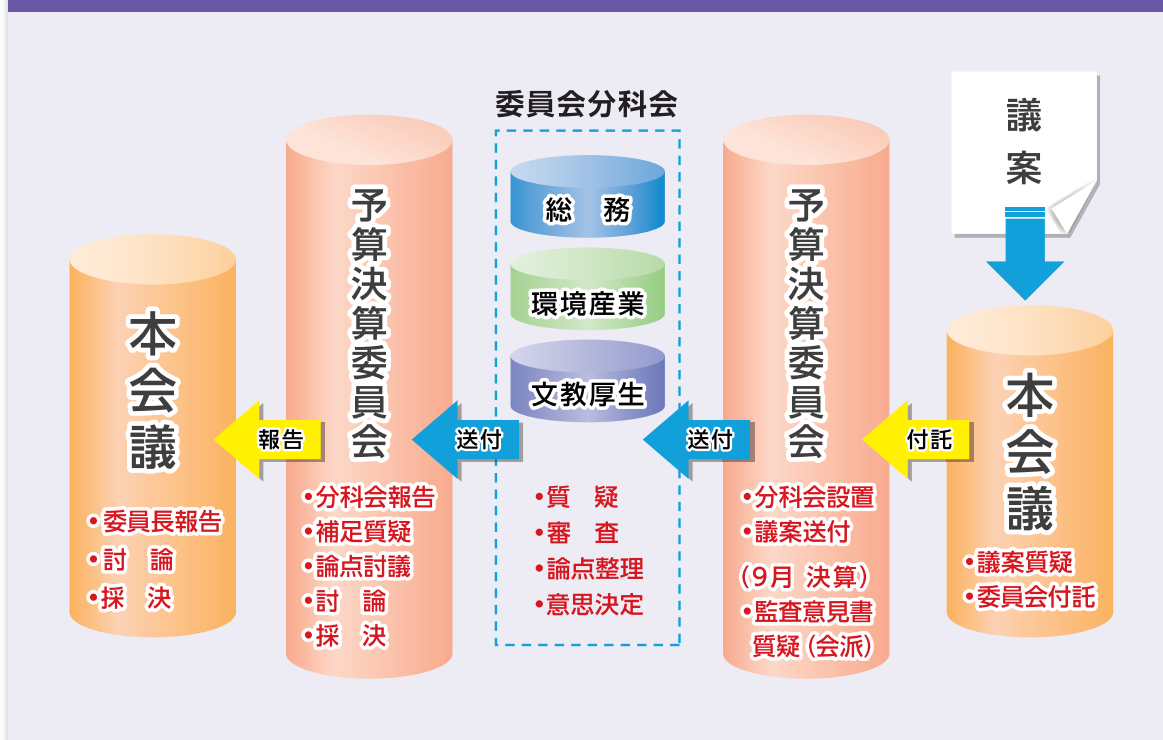
このような中、予算決算審査の改革の発端は、予算を各常任委員会に分割付託しているのは、議案一体の原則から問題ではないかという意識からでした。行政実例では、「予算は不可分であって、委員会としての最終的審査は一つの委員会において行うべく、二つ以上の委員会で分割審査すべきものではない」として、分割付託を認めていませんでした。

掛川市議会は、議会改革の先進地として、これまでの審査方法を見直し、令和4年度から予算と決算を総合的に審査する新たな手法を取り入れるため、令和3年5月、本特別委員会を設置しました。

予算と決算を総合的に審査する新たな手法について議論を重ねた結果、これまで以上に監査の意見を活用するなど、審査の充実を図るとともに、詳細な審査を行うために分科会を設置し、論点整理を行った上で、議長を除く全議員（20人）で審査にあたることとしました。本特別委員会の協議結果を踏まえ、令和4年2月定例会において、掛川市議会委員会条例を一部改正し、予算決算常任委員会を設置する運びとなりました。

委員長 草賀 章 吉

予算・決算の審査方法



令和3年度一般会計補正予算（第14号）の概要

補 正 額

11億5,831万円

補正後の予算額

563億4,087万円

第14号主な補正

原油等価格高騰に伴う 公共施設維持管理経費増 4,794万円

（電気料増4,500万円、燃料費増147万円、施設管理運転業務委託料増148万円）
エネルギー価格高騰による



生活保護扶助費増 4,645万円

生活保護の受給世帯数の増加などによる



普通退職手当額増 4,590万円

令和3年度の退職予定者数に合わせる



天竜浜名湖鉄道地域鉄道対策事業 費補助金増 1,187万円

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による旅客収入減少等に対する補助金



指定管理施設営業損失補償金 追加 1,784万円

市の要請に基づき施設休館などを実施した指定管理者への補償金



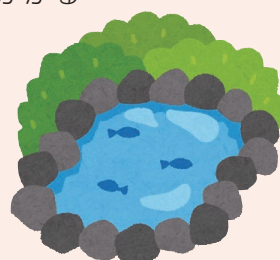
保育士、放課後児童 支援員等処遇改善事業 追加 1,916万円

（公立57万円、私立1,749万円、放課後児童支援員110万円）
保育士等の処遇改善を実施する施設に対する臨時特例交付金



ため 農業用溜池整備事業費増 5,800万円

ため
農業用溜池調査にかかる委託料（9池→17池）



常任委員会 委員長報告

令和3年度補正予算関係議案などを3つの常任委員会に付託し、
審査を行いました（質疑より抜粋）

環境産業委員会 委員長 藤原正光

電気料について

Q 今後の対策として、市場連動型と従量料金型のプランを混在させることができるのか伺う。

A 電気料金が安い施設については、他社と比較し、切り替えも視野に入れ検討していく必要があると考えています。

天竜浜名湖鉄道の状況について

Q 天竜浜名湖鉄道の経営状況と支援策について伺う。

A 現時点で1億1,600万円の赤字、1億600万円の資本欠損、6月には資金ショートする見込みであり、単年度ごと資本欠損状況を見ながら追加支援を検討していきます。

下水管路建設費について

Q 管路建設費委託料の減額理由について伺う。

A 管路工事の設計委託料は入札差金によるもので、建物補償調査委託料は、調査対象宅の事前・事後調査が不要となったこと等の精算によるものです。

総務委員会 委員長 寺田幸弘

電気料について

Q かけがわ報徳パワー株式会社から調達する場合と、他の電気事業者から調達する場合の電気料の違いはあるのか。

A 電気料設定の仕組みが異なり、報徳パワーが電力市場の影響を即座に受けるのに対して、他の電気事業者の場合は、3～4カ月遅れて反映されるので、同時期に単価に反映されたと仮定すると、燃料高騰の影響金額は、ほぼ同じです。

マイナポイント申込支援事業について

Q マイナポイント申込支援事業は具体的にどんな内容であるのか。

A 本庁と支所に支援のためのブースや、相談のためのコールセンターを設置し、スムーズなポイント取得のため、支援していきたいと考えています。

人事管理費について

Q 普通退職手当の増額が大きいですが、退職の理由として、次の道にステップアップするためというケースはあるのか。

A 退職の理由は、自己都合が主であり、家庭の事情や中には、次に向けたステップアップという方もいます。人事としては、定年まで働いてもらえるような環境づくりをしていきたいと考えていますが、世間の流れとして、1つの組織にとどまらず次にチャレンジしていくという傾向もあり苦慮しています。

文教厚生委員会 委員長 嶺岡慎悟

保育士等処遇改善臨時特例交付金について

Q この補助金の対象となる施設と職員の雇用形態について伺う。

A 施設に勤務するすべての職員が処遇改善の対象となりますが、認可外施設は対象外です。また、公立の職員は、会計年度任用職員のみ対象となります。

配食サービス事業について

Q 配食業者選定のプロポーザルではどのような改善があったのか。

A 複数事業者から選択できるようになり、利便性が向上しました。

病院の誘致活動について

Q 地域医療拡充支援診療所誘致等補助金の減額理由は。

A 医師会と連携して誘致活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの対応に追われ、進めることができませんでした。

令和4年度当初予算の概要

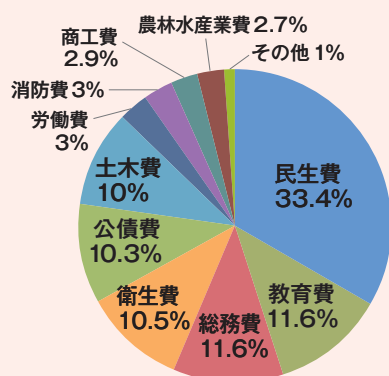
市民や企業などの様々な挑戦を応援する「未来チャレンジ予算」と位置づけられた予算が提案、可決されました。一般会計は前年度比5%増の509億1,000万円。きょうこども園建設、企業誘致、ワクチン接種などのコロナ対策、DXの推進などにより、過去最大の予算規模になりました。

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減
総 額	864億 765万円	828億9,226万円	35億1,539万円
一 般 会 計	509億1,000万円	484億8,000万円	24億3,000万円
特 別 会 計	251億8,025万円	243億8,218万円	7億9,807万円
企 業 会 計	103億1,740万円	100億3,008万円	2億8,732万円

*特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、掛川駅周辺施設管理、5財産区など）

*企業会計（水道、下水道など）

歳出予算構成比（一般会計…目的別）



「未来チャレンジ枠」を創設し、各課からの提案による新規15事業（3,489万円）を実施します。

未来チャレンジ枠の新規事業（抜粋）

- ◎アニメ「シュート!」を活用したまちおこし 500万円
- ◎街なか空き店舗活用（チャレンジベースなかまち） 348万円
- ◎道路等損傷通報システム 66万円
- ◎掛川市防災航空隊（高校生ドローン隊） 202万円
- ◎Web会議システム導入（市議会） 193万円

注目事業

DX推進

- 「家庭の避難計画」作成デジタル化 386万円
- 小中学校授業支援ソフト導入 2,464万円

ポストコロナ対応

- 新型コロナウイルスワクチン接種対策 3億9,106万円
- 高齢者ワクチン接種移動支援（タクシー運賃助成） 330万円

主な事業

教育・文化

- 部活動地域展開推進 785万円
- 掛川城天守閣等改修 2億9,859万円

健康・子育て・福祉

- きょうこども園施設整備 11億5,182万円
- ひきこもり支援 378万円

環境

- 公共施設太陽光発電導入ポテンシャル調査 1,000万円
- 公用車への電気自動車導入 126万円

産業・経済・シティプロモーション

- 企業立地促進 4億1,840万円
- 掛川茶リブランディング 2,000万円
- 観光地ワーケーション受入環境整備促進 500万円

安心・安全・都市基盤

- 海岸防災林強化 6億3,490万円
- お達者半額タクシー実証実験 400万円

協働・広域・行財政

- 地区まちづくり協議会支援 8,500万円
- 自治区タブレット導入 1,062万円

令和4年度一般会計補正予算（第1号）の概要

新たな廃棄物処理施設整備に関する検討を行うため、検討委員会委員報償費等及び調査委託料を追加

補正額

1,054万円

補正後の予算額

509億2,054万円

常任委員会 委員長報告

令和4年度予算関係議案などを、3つの常任委員会に付託し、
審査を行いました（質疑より抜粋）

環境産業委員会 委員長 藤原正光

掛川茶消費拡大事業について

Q 掛川茶リブランディングプロジェクトの事業内容を伺う。

A お茶と暮らしウェブサイトの更新、SNSの運用、コンテンツ、印刷物やPR関係グッズの作成、ブランド事業、販路拡大のための拠点開発調査、オリジナル商品の開発、ほのぼのパスパネル設置等を行う予定です。

公共交通の拡充と福祉施策の充実について

Q お達者半額タクシー実証実験事業と福祉課のタクシー助成との併用は可能か伺う。

A 可能であり、今後、公共交通の拡充と福祉施策の充実について検証していきます。

河川愛護活動の持続について

Q 河川愛護団体謝礼の増額理由を伺う。

A 自治会の負担軽減と持続的に活動してもらうため、担い手を増やすことや、どうしたら愛護に繋がるかを考慮したためです。

総務委員会 委員長 寺田幸弘

庁舎管理費の電気料の契約について

Q 市として電気料の契約を全体で一括契約することができれば、少しは安く抑えることができるのではないかと。

A 市役所として一本化すれば大口契約となるので、大口割引の可能性を探り、検討していきたいと考えています。

学校再編の所管について

Q 公共施設マネジメント推進事業のうち、学校再編の所管について、教育委員会ではなく、令和4年度組織される資産経営課で行うのか。

A 所管は資産経営課が中心となって進めていきます。一番の方針は、子どもたちにとって、最適な状況を提供することであり、この点を主眼において、市長部局と教育委員会で協力していきたいと考えています。

DX推進計画推進費について

Q 誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化推進の観点で、市民向けに講座を開くなど、予算化されているものはあるのか。

A 市民向けに、デジタル化についての講座を開催していく予定です。

文教厚生委員会 委員長 嶺岡慎悟

ひきこもり支援事業について

Q ひきこもり支援事業対象者について伺う。

A 若い方を重点に、女性の方や発達障がいの方など特定の方を対象とした日を設けることも考えています。

学校再編計画について

Q 今後、学校再編をどのように進めようとしているのか。

A 教育委員会では、今まで通り、学園をベースに学校の再編等については進めていきたいと考えています。

給食材料費について

Q 食材の高騰に対する対応策をどのように考えているのか。

A 加工賃のかからないパン等、安価な食材に変更するなど、工夫しながら対応しています。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

共に創る掛川
富田まゆみ



愛護活動に頼っている地域の
草刈り作業を持続可能な体制
とするには

Q 地域の草刈りを行う「有償ボランティアを地区内で養成する」、減少傾向にある「シルバー人材を育成・支援する」、全市的に活動を行う「草刈り応援隊を行政主導で立ち上げ支援し、市民活動団体として育成する」ことも有効な手法と考えるが見解を伺う。



河川の草刈りをする
地元住民

ボランティア活動に必要な
支援策を研究する

A 「かがわりバー・ロードサポーター制度」の登録団体には、活動時に使用する物品の提

供を行っています。また、河川愛護実施団体には、謝礼をお支払いしています。両制度を広く案内し、団体の増加、活動の定着や活性化が図られるよう支援策について研究していきます。また、シルバー人材センター会員数は減少傾向ですが、今後も業務が継続できるよう支援していきます。

持続可能な自治区・地区組織
の在り方は

Q 多くの住民が負担なく参画する持続可能なまちづくりができるよう、市があるべき自治区・地区組織の先行事例を示すべきと考えるが、見解を伺う。

組織等の見直しに取り組む
地区の実例を示していく

A 現在、複数の地区において、組織等の見直しが進んでいるため、地区同士での情報共有や意見交換の場を設ける等、先行して取り組む地区の実例を示し、水平展開を図ります。また、事業目的等の見直し、デジタルを活用した取り組みの推進などを地区とともに検討していきます。

新しい風
藤澤恭子



ヤングケアラーへの支援策を

Q ヤングケアラーを支援することと同時に、子どもたちが

ヤングケアラーにならないよう、未然に防ぐ社会づくりが必要であると考えるが見解を伺う。



ヤングケアラーの早期発見、
早期支援の推進に努める

A ヤングケアラーは、早期発見、早期支援、周知・啓発が必要です。そのような状況にある子どもを把握した場合、子ども家庭総合支援室は、学校教育課や学校と連携しケース会議等を行い、必要な制度や支援につなげていきます。昨年、県が

実施した調査の分析結果を待ち、実態および課題の把握とともに、関係機関がより一層の連携を図り、早期発見、早期支援、周知・啓発の強化に努めます。

オルタナティブスクールの
検討を

Q 多様な教育ができるまちとして、子育て世代からも選ばれる市であるため、フリースクールなどのオルタナティブスクール（※1）の検討を進めるべきと考えるがいかがか。

多様な教育の場を提供する
ための支援を検討していく

A オルタナティブスクールは、日本国籍を有する学齢児童生徒を就学させても、就学義務を履行したことになりません。しかし、児童生徒のために、多様な教育の場を提供することは大切です。誰ひとり取り残さないためにも、どのような支援が必要か検討していきます。

※1 公の教育とは異なる独自の教育理念・方針により運営される学校の総称

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

創世会
石川 紀子**放課後児童クラブに6年生まで受け入れる考えは**

Q 市内38か所ある放課後児童クラブは、場所によって利用できる学年が違う。フルタイム等で働く家庭では、子どもが安心して過ごせるように、6年生まで受け入れる考えはあるのか伺う。

定員超過の解消を優先し、受け入れを進めていく

A 6年生まで受け入れができない主な理由は、施設の面積の不足であり、3年生や4年生でクラブの定員を超過していると認識しています。定員超過の解消を優先し、解消後に6年生の受け入れを進めていきます。

放課後等デイサービスを利用したい時どうすればいいのか

Q 障がいのあるお子さんや、発達に特性のあるお子さん、支援が必要なお子さんが放課後等デイサービスを使いたい場合、どのような流れで利用できるのか伺う。

**掛川市から受給者証が発行され、利用開始となる**

A 事業所見学後、福祉課で面接と申請をし、「障害児支援利用計画」を障害児相談支援事業所または保護者で作成し提出していただきます。福祉課で審査後、受給者証が発行され利用が開始されます。対象は学校に通う、支援が必要なお子さんであり、掛川市では特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に通っている場合や、療育手帳などをお持ちの場合にサービスを利用できます。それらに該当しない場合、医師の意見書により、サービスが必要と判断されれば利用することができます。

創世会
鷺山 記世**持続可能な協働のまちづくりとは**

Q 「自治会とまちづくり協議会の違いがわからない」と思いながらも、市民の皆様には日々手探りで協働のまちづくりのためにご尽力いただいている。両者の違い、関係性について見解を伺う。

市民の皆様へ役割の違い等周知に努めていく

A 自治会は、最も基礎的な地域による組織で、住民相互の親睦や区域内の生活環境を保全するなどの活動をしています。一方、地区まちづくり協議会は、概ね小学校区を範囲として、自治会だけでは対処が難しい課題の解決に向けて取り組むなど自治基本条例の理念である「市民主体による協働のまちづくり」を具体的に進めるための組織です。市民の皆様へ役割の違い等

周知に努めていきます。

誰一人取り残されないための情報発信とは

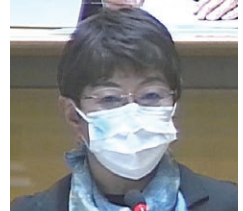
Q 福祉に関する行政サービスは市民自らが手続きをすることによって享受できる。出生から死亡まで各世代でどのような手続きが生じるか、中学生でもわかるサイトが必要と考えるが見解を伺う。

全ての人が利用しやすいホームページを目指していく

A 掛川市公式ホームページは、すべての人が確実に情報を取得できること、知りたい情報に容易に到達できるように配慮するよう、ガイドラインのもと運用しています。トップページに「目的別ガイド」を設け、ライフイベントごとに手続きを集約しています。今後も、利用しやすいホームページを目指していきます。



QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

日本共産党
議員団
勝川志保子**市民要望の高い補聴器の助成
制度の創設を早急に**

Q 先の議会に請願署名も提出された補聴器購入助成制度は、県内でも広がっている。聞こえに関する調査等を行なった上、早急に制度創設の検討をすべきと考えるが見解を伺う。

**実態調査や他市の導入状況を
踏まえ創設を検討していく**

A 昨年、市民団体の皆様と意見交換の場を設けるとともに、高齢者に対し、聞こえについての予備調査を実施しました。今後、より多くの市民に対して状況把握を行います。高齢者実態把握調査の中でも、「聞こえ」に関するアンケートを実施します。それらの結果をもとに、すでに実施している市町等の導入状況を踏まえ、補聴器の購入助成制度創設を検討していきます。

**木育を取り入れた子育て
施設整備を**

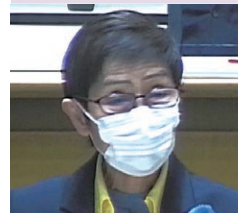
Q 駅前西街区は民間への売却時、子ども館の計画があり市民は期待していた。「コロナの影響もあり子育て関連施設計画は縮小されている。木育を取り入れた子育て施設を整備し、駅前活性化と子育て支援の相乗効果が図れないか伺う。

焼津おもちゃ美術館の
赤ちゃん木育広場
(ホームページより)**子育て世代の要望や意見を事
業者に伝え、協力していく**

A 駅前に民間活力による子育て関連施設が整備されると伺っていますので、子育て世代からの要望や意見を事業者にも伝え、相互に協力していきます。木育については、子どもが木に親しむ良い機会と考えますので、子育て支援拠点等に取り入れることができるか研究していきます。

【その他の質問事項】

・市民に活用される22世紀の丘公園の在り方について

市民派・
公明倶楽部
窪野愛子**「私の健康人生設計ノート」
市民の活用への広報啓発は**

Q 超高齢社会における尊厳ある終末医療の在り方などに活かしていくために、ノートの活用状況や効果を検証する必要もある。今後の市民への普及や利活用について伺う。



私の健康人生設計ノート

**ホームページの見直しや市公
式ラインで情報発信をした**

A 本年度は世代を超えたPRを図るため、配布場所やホームページ内容を見直したほか、市公式ラインで情報発信しました。自身の健康・医療のことや終末期の過ごし方などが、このノートを紹介することで早い段階から家族などと共有しやすくなります。今後は、「アドバンス・ケア・プランニング※1」や、「エンド・オブ・ライフ・ケア※2」

などの取り組みと連携を深め、活用していきたいと考えています。

※1 人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うこと

※2 年齢や健康状態、診断名を問わず、最期まで、その人らしく生きることができるよう支援するケア

**22世紀の丘公園内に乳幼児
等の水遊び場所の創設は**

Q 水遊びを通して五感が刺激され、バランス感覚や身体能力が養われ、水の面白さや怖さを体験的に学べるなど、効果が期待できる乳幼児等の水遊びの場所の整備について伺う。

**現在のところ水遊び場の整備
は考えていない**

A 乳幼児等の水遊び体験の場について、現在のところ、22世紀の丘公園への整備は考えていません。しかし、期間限定で仮設のプールを設置している事例もありますので、指定管理者と連携し、安全面も考慮しながら乳幼児用の水遊び場についても実施の可能性を研究していきます。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

共に創る掛川
鈴木久裕

市が支払う電気料金が大幅増額となった原因は

Q 令和3年度当初から市が電気を購入しているかけがわ報徳パワー(株)は、自前電源が全くない上、市場連動型の料金体系しかない。一旦、市の施設全ての電気の契約先を以前の供給者等に変更すべきではないか。

一部の施設は契約先の見直しを検討する

A 中長期的な視野に立ち、脱炭素やエネルギー地産地消に向けた取り組みを行っていく必要があることから、全ての施設で契約を解除することは考えていません。しかしながら、現状の電力市場価格高騰による影響は大きいものであると認識し

ていますので、一部の施設については契約先の見直しを検討していきます。

来年の大河ドラマを見据えた取り組みは

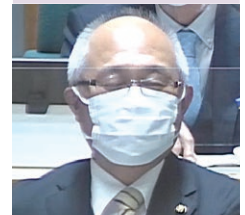
Q 高天神城跡や「六砦」について、現状を見れば、外向けのPRよりも、まずは通路や道標など最低限の整備を行い、眺望の確保や説明板の設置など行うべきではないか。

高天神城の説明看板の設置などを計画している

A NHK大河ドラマの放映にあわせ、まずは史跡である高天神城の説明看板の設置や、パンフレットの作成を計画しており、その中で六砦についても紹介していく方向で進めていきます。なお、中村砦については、眺望の確保ができるよう保全会と協力し、現地の整備を検討していきたいと考えています。

【その他の質問事項】

・副市長二人体制のもとにおける「戦略監」の位置づけについて

創世会
安田 彰

特定健診受診率向上のための具体策は

Q 市総合計画では、特定健診受診率の目標を令和7年度60%としている。この目標を達成するために、どのような具体策を講じるのか伺う。

受診率向上のため5つの取り組みを行っている

A 受診率向上への具体的な対策としては、5つの取り組みを行っています。1つ目は、受診券を対象者全員に送付。2つ目は、行動分析した結果を用いてナッジ理論を活用した未受診勧奨通知を定期的に送付。3つ目は、がん検診とセットにした受診しやすい環境づくり。4つ目は、節目年齢受診者の健診費用無料化。5つ目は、かかりつけ医への定期受診者や職場健診を受けている方には検査結果

の情報提供を依頼したことです。

魅力ある図書館にするために

Q 市の予算における過去5年間の図書購入費の推移を見ると、年々減少している。学びの主要な拠点としての魅力を維持するためには、図書購入費を増やしていくことが大切だと考えるが、見解を伺う。

限られた予算を有効活用していく

A 図書館では、掛川市が進めるDXの一環として、紙媒体の図書と電子図書をお互いに補完するものと位置づけ、資料の購入を進めています。今後に限られた図書購入費を有効に活用し、市民にとって魅力ある図書館になるよう、要望をできるだけ取り入れた蔵書構成に努めていきます。



QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

日本共産党
議員団
大井 正**ごみ処理施設建設の議論には
市民の声を反映させるべき**

Q 新設するごみ処理施設の整備方針について、広範な議論を保証し、市民の意見が反映されるよう検討委員会での議論を開示していくのか伺う。

**検討委員会は公開で行い、
市民対話集会で報告する**

A 検討委員会は公開で開催します。検討経過については、適切な時期に、市民対話集会で報告するとともに、議会にも報告していきます。

**デジタル技術を活用した
新しい交通計画の検討を**

Q 将来の自動運転実用化などを見据え、現在の路線バスやデマンドタクシーにとらわれない、全く新しい都市政策としての

交通計画を検討すべきと考えるが見解を伺う。

**公共交通の在り方について
研究を進める**

A 自動運転システムやAIの活用は、高齢者や学生をはじめ、利用者の利便性向上を図る上で、大変、有意義であると認識しており、近い将来、現実となると考えています。

今後、MaaS（※1）等の新たなモビリティサービスや自動運転など新技术を活用した公共交通に向けて、スムーズに移行できるよう公共交通の在り方について、研究を進めていきます。



※1「Mobility as a Service」略。従来の交通手段・サービスに、自動運転やAIなどの様々なテクノロジーを掛け合わせた、次世代交通サービス

【その他の質問事項】

・新たな廃棄物処理施設と掛川市の施策との整合性について

2月定例会における審議結果一覧**■全会一致で可決・同意**

予 算	
令和4年度掛川市公共用地取得特別会計予算について	令和3年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について
令和4年度掛川駅周辺施設管理特別会計予算について	令和3年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について
令和4年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計予算について	令和3年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について
令和4年度上西郷財産区特別会計予算について	令和3年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）について
令和4年度桜木財産区特別会計予算について	令和3年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算（第2号）について
令和4年度東山財産区特別会計予算について	令和3年度東山財産区特別会計補正予算（第1号）について
令和4年度佐束財産区特別会計予算について	令和3年度掛川市公共下水道事業会計補正予算（第3号）について
令和4年度倉真財産区特別会計予算について	令和3年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算（第3号）について
令和4年度掛川市水道事業会計予算について	
令和4年度掛川市簡易水道事業会計予算について	
令和4年度掛川市公共下水道事業会計予算について	
令和4年度掛川市農業集落排水事業会計予算について	
令和4年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計予算について	
議 発	
「ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」について	掛川市議会委員会条例の一部改正について

条 例

掛川市上内田四区財産区特別会計条例の制定について
 掛川市上内田四区財産区運営基金条例の制定について
 掛川市南郷財産区特別会計条例の制定について
 掛川市南郷財産区運営基金条例の制定について
 掛川市倉真財産区管理条例の制定について
 掛川市倉真財産区特別会計条例の制定について
 掛川市倉真財産区運営基金条例の制定について
 掛川市倉真財産区管理会の管理委員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定について
 掛川市犯罪被害者等支援条例の制定について
 掛川市佐束財産区管理条例等の一部改正について
 掛川市個人情報保護条例の一部改正について
 掛川市職員の分限に関する条例の一部改正について

掛川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
 掛川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
 掛川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正について
 掛川市営住宅管理条例等の一部改正について
 掛川市污水处理施設条例の一部改正について
 掛川市農業集落排水処理施設条例の一部改正について
 掛川市立学校設置条例の一部改正について
 掛川市学校給食共同調理場に関する条例の一部改正について
 掛川市消防団条例の一部改正について
 掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

人 事

掛川市副市長の選任について
 掛川市教育委員会委員の任命について
 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 2件

掛川市東山財産区管理委員の選任について 7件
 掛川市倉真財産区管理委員の選任について 7件

■賛否の分かれた議案（賛成多数可決） ○賛成 ×反対

議 案 名	議員 名	創 世 会										新しい風				SKK*	共産*		共掛*	志*	
		松本均*	安田彰	石川紀子	鷲山記世	高橋篤仁	山田浩司	藤原正光	寺田幸弘	山本裕三	二村禮一	橋本勝弘	松浦昌巳	嶺岡慎悟	藤澤恭子	窪野愛子	山本行男	大井正	勝川志保子	鈴木久裕	富田まゆみ
令和4年度掛川市一般会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和4年度掛川市国民健康保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和4年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和4年度掛川市介護保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
掛川市上内田四区財産区議会設置条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
掛川市南郷財産区議会設置条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
掛川市職員の給与に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
掛川市国民健康保険税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和3年度掛川市一般会計補正予算（第14号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和3年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和3年度掛川市水道事業会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
令和3年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
第2次掛川市総合計画基本構想の改定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
令和4年度掛川市一般会計補正予算（第1号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

*議長（松本 均）は、採決には参加しません *SKK ▶市民派・公明倶楽部 共産▶日本共産党議員団 共掛▶共に創る掛川 志▶志誠会

未来日誌

※4月13日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

4月

22日(金)9:30 ○本会議(4月臨時会)

5月

19日(木)9:00 ○全員協議会

6月

8日(水)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)

20日(月)9:00 ○本会議(一般質問)

21日(火)9:00 ○本会議(一般質問)

22日(水)9:00 ○本会議(一般質問、議案質疑～委員会付託)

本会議終了後 ○予算決算常任委員会

○分科会、部門別常任委員会

23日(木)9:30 ○分科会、部門別常任委員会

24日(金)9:30 ○分科会、部門別常任委員会

29日(水)9:30 ○予算決算常任委員会

7月

5日(火)9:30 ○本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

22日(金)9:00 ○全員協議会

議員研修会

掛川市議会では議員の能力向上を図るため、議員研修会を行っています。

令和4年1月21日、中部電力(株)から「浜岡原子力発電所の近況報告について」、資源エネルギー庁原子力立地政策室から「第6次エネルギー基本計画の概要について」の説明を受けました。

令和4年2月7日、掛川市・袋井市議会議員合同研修会では千葉県市川市職員・議会事務局実務研究会会員の野村憲一氏から「自治体議員のコンプライアンスについて」の講演をオンラインで受けました。

今後、議員研修会で学んだことを議会活動に活かしていきます。



掛川市・袋井市議会議員合同研修会の様子

編集後記

令和3年度の議会だより分科会では、若い世代にも議会へ興味を持てていただきたいということで、表紙のイラストを依頼しています。これまで3つの高校が表紙を飾っていますがいかがでしょうか？カラフルで奇抜なアイデアはいつ

地域住民は街を選んで生まれたのではなく、誰もお互い格差がない対等を求め、地域発展を望む。そこに行政と議会が関係し行政組織は地元住民があって成り立つ。市民は生活環境をよくしたい為に汗水出して働き税金を納付し、行政はこの税金を多くの市民の幸せの為に執行する。行政は許認可の権限を持つて立場を有利にする中で、行政の動向が、市民の為に、行政は個人地域、組織、全体の利益が偏り格差があつてはならない。そこで市民代表の議会が、行政をしっかり監視し、問題点に対し厳しく問い追及すべき。議会は賛成議員で無く質問で行政の通常言葉、今後検討の答弁を更に追及する議会であってほしいと願う。

石川和夫(佐東区)

傍聴席

今号の表紙



掛川西高校美術部

掛川西高校美術部の皆さんの作品



細かく切った紙を貼り合わせて、部員全員で制作しました。愛嬌のあるかわいい茶のみやきんじろうができました。

も感心させられます。市民の皆様が興味ある内容を掲載し、わかりやすい表現で、誰もが読みたくなる議会だよりづくりを心がけていきたいと思えます。ご意見ご感想などありましたらお気軽にお寄せ下さい。

議会だより編集分科会

副主査 松浦昌巳

